

四條畷市福祉計画検討委員会 議事録（子ども福祉課）

日 時：平成26年2月18日（火）午後1時00分～午後2時00分

於：四條畷市保健センター1階集団検診室

<出席委員> 小寺委員長（議長）、北川委員（副議長）、山上委員、石井委員、  
守屋委員、矢田委員、福田委員、久門委員、大滝委員、平山委員、  
原委員、海老名委員、鈴木委員、香山委員、

四條畷市次世代育成支援地域後期行動計画「なわて子どもプラン」

平成25年度進捗状況

<説明事項>

第2章. 子どもと子育て家庭を取り巻く状況

第4章. 目標事業量の推計

第5章. 施策の推進方策

第6章. 主要プロジェクト

- (1) 待機児童の解消
- (2) 人権教育プログラム
- (3) 子育てネットワークの再構築
- (4) 福祉と教育の連携
- (5) 保育の質の向上の推進
- (6) 障がい児の日中活動支援・居場所づくり

1. 開会

2. 健康福祉部長挨拶

3. 子ども福祉課事務局職員紹介

○議事録

議 長           本日は4課にわたる計画の審議と「なわてみんなの福祉プラン」  
第3期の地域計画の答申について審議をいただくことになってお  
ります。かなり長い時間になると思いますが、皆さん方のご意見  
よろしくお願い致します

議 長           「なわて子どもプラン」平成25年度進捗状況につきまして事  
務局より説明をお願いします。

事務局 (説明)

議長 事務局より説明がありましたがこの件につきまして、委員の皆様ご意見、ご質問は、ございませんでしょうか。

原委員 待機児童について

自治体によっては待機児童の基準というか見方が若干異なるようですが、四條畷市においては、どういう状態が待機をしている児童の状況なのか。

また、1100人の受け皿を作られているということですが、整備目標量からするとかなりの子どもの数が将来的に減るという見込みがある中で、1100人以上また待機児童が出た場合は、保育所で定員を増やされる意向があるのかどうか。

課長 待機児童の数字について

大阪府に報告している数字につきましては、徒歩あるいは自転車によって30分以内で行けるところに空があればそれは待機児童としては数えておりません。

ただ、田原地区においては、山を越えないといけないということで、実際に申込みをされて入所できない方は、待機児童という形になってくるのですが、西部地区においては、空がある場合に保護者の思いで、そこの保育所はいやでこちらの保育所に行きたいという方は省いているというかたちで集計をしております。

また、今後のニーズ量につきましては、現在でも待機児童の大半が、0歳、1歳、2歳になっておりまして、4歳、5歳では定員に達していない施設もでてきております

そのようなところから定員の調整が今後必要になってくると考えているのですが、また新たな施設を建ててということになると、将来推計でも子どもの数が減っていくという推計が出ていますのでやはり既存施設の定員の調整というところに対応していきたいと考えておるところです。

石井委員 保育士の雇用・労働条件等について

待機児童の解消という話は、これまでからも出ていると思うのですが、今は、保育士さんを、募集すれば即くるものですか。

私も長い間、保育所の裏に住んでいまして、当時は保育士もたく

さんいてましたが保育士の労働条件は大丈夫なんですか。

課長 委員のおっしゃる通り、保育現場では保育士もかなりきつい状況の中で仕事をしているということで、臨時職員の採用についても各施設苦勞されていると聞いております。

国の方もそういう状況を踏まえて処遇改善というところで補助金を出してはいるのですが、それでは焼け石に水というか単発的なものであったり、使い勝手が悪いということで、なかなか処遇の根本的な改善には至っておらず保育士の待遇処遇の基本的な見直しが必要になっているのではないかと考えているところですが、今の現状ではなかなか保育士も集まりにくい状況になっているのが現状です

石井委員 質の向上も大切だけれど、労働条件が悪いと小さなトラブルから逆に虐待に走ったりするといったことが起きる可能性もあるのではないかと。

大阪市内は工場と保育所をセットしたかたちで、職場の近くにあるところへ子どもを入れていくような形をとっているものだから、四條畷がうまくいかないと、どんどん四條畷の人口が流出していく可能性もあるのでは、保育所は別としても幼稚園は1時間も出ていくことになるとなりたっていくのかなと思う。幼稚園の1時間というのはかなり大きいと思うが・・・その辺は、子どもも大事だけれど、そちらの方もちゃんとしないとうまく計画が進んでいかないのと違うかと思うがどうなのか。

課長 平成26年度に、会議を立ち上げて検討していくことになる「子ども・子育て会議」の中でも現場の子育て支援事業に携わっている方や、現場の保育士さんという方にもメンバーの中に入っているだけで予定をしており、その中で、いろんな意見を吸い上げて、市としてもできる限りスムーズに子ども保育の運営を進めていきたいと思っているところです。

議長 その他、意見はございませんでしょうか。  
意見が無いようですので、平成25年度「なわて子どもプラン」進捗状況についての審議は終了します。